



令和6年12月吉日

全国公立学校教頭会会長 松野 博文  
関東甲信越地区公立学校教頭会会長 渡辺 浩二  
茨城県小中学校教頭会会長 根本 義典

## 令和7年度

- 第67回 全国公立学校教頭会研究大会 茨城大会
- 第66回 関東甲信越地区公立学校教頭会研究大会 茨城大会
- 第66回 茨城県小中学校教頭会研究大会 水戸大会

### 〔第一次ご案内〕

期 日 令和7年7月31日(木)・8月1日(金)

会 場 水戸市民会館(グロービスホール) 他

「郷土を愛し 協働して未来にはばたく人財を育む 活力ある学校づくりの推進」

茨城大会実行委員長 安齊 寛

伝統ある全国公立学校教頭会研究大会は、南国土佐の高知県からいよいよ茨城県に引き継がれました。令和7年7月31日(木)から8月1日(金)の2日間、茨城県水戸市で「第67回全国公立学校教頭会研究大会」を開催いたします。茨城大会では、第13期全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」の3年次にあたり、サブテーマを「郷土を愛し 協働して未来にはばたく人財を育む 活力ある学校づくりの推進」としました。

茨城県は、ブランド総合研究所の「都道府県魅力度ランキング」において、毎年最下位を争っていますが、海山の豊かな自然に恵まれたところです。農水産業が盛んでメロン、栗、梨をはじめ生産量全国1位の作物がたくさんあります。工業生産も盛んに行われ名産品もたくさんあります。筑波山、偕楽園、袋田の滝、ネモフィラやコキアで有名な国営ひたち海浜公園などの観光地や、先端科学技術の研究機関の集まるつくば研究学園都市もあります。

また、開催地の水戸では、水戸黄門(水戸藩2代藩主徳川光圀公)が大日本史編纂にあたるなど、学問を大切に人材育成に取り組んできました。9代藩主徳川斉昭公は、日本最大規模の藩校である弘道館を開設し、そこには、幕末から維新にかけて活躍した吉田松陰をはじめとする多くの人々が全国から学びに集いました。水戸は、江戸から明治へと世の中が大きく変わった先の読めない時代に、どう生きるべきか、日本はどうあるべきか、学び、議論し合った地でもあるのです。

現代の社会は、人工知能(生成AI)や、ビッグデータ、Internet of Things (IoT)、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society5.0 時代が到来しつつあります。グローバル化や地球温暖化など、社会の在り方そのものがこれまでとは「非連続」と言えるほど劇的に変わる状況が生じつつあり、社会の変化が加速度を増し、複雑で予測困難となってきました。教育現場でも、少子化による児童生徒数減少やそれに伴う学校の統廃合、長時間労働や教職へのマイナスイメージ、教師のなり手不足など、問題山積と言えます。このような時代をたくましく生き抜く人財を育てるために私たち副校長・教頭は、教員の資質向上や労働環境の整備、地域資源の活用などに取り組み、活力ある学校をつくっていくことが求められています。

茨城大会では、これらの課題や解決方法について私たち、副校長・教頭が教員と学校の魅力を高め、未来を切り拓く主体的に行動する子供たちを育てるために何ができるのか、全国の皆様と(かつての志士のように水戸の地を舞台に)共に協議して参りましょう。オール茨城の副校長・教頭で全国の皆様をお迎えすべく、準備を進めて参ります。来年の夏、全国の皆様と茨城でお会いできることを楽しみにしております。

# 開催要項

1 主催  
全国公立学校教頭会 関東甲信越地区公立学校教頭会 茨城県小中学校教頭会

2 後援 (申請予定を含む)  
文部科学省 全国都道府県教育長協議会 茨城県 水戸市  
茨城県教育委員会 水戸市教育委員会 公益社団法人日本教育会  
全国連合小学校長会 全日本中学校長会 茨城県学校長会  
全国へき地教育研究連盟 公益財団法人日本教育公務員弘済会茨城支部  
公益社団法人日本PTA全国協議会 茨城県PTA連絡協議会  
水戸市PTA連絡協議会 (順不同)

3 大会主題  
「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」  
(第13期 全国統一研究主題 3年次)  
キーワード < 自立・協働・創造 >  
サブテーマ 「郷土を愛し 協働して未来にはばたく人財を育む 活力ある学校づくりの推進」

4 期 日  
令和7年7月31日(木)・8月1日(金)

5 開催地  
茨城県水戸市

6 会 場  
全体会場：水戸市民会館 (グロービスホール)  
分科会場：水戸市民会館 (会議室・展示室)  
アダストリアみとアリーナ 水戸プラザホテル  
水戸京成ホテル 水戸三の丸ホテル  
ホテル・ザ・ウエストヒルズ・水戸

7 開催方法  
参集型・オンライン型を併用したハイブリッド大会

8 日 程	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
第1日目 7月31日 (木) 水戸市民会館				受付	開会行事 (場面転換)	記念講演	休憩	シンポジウム	諸連絡
第2日目 8月1日 (金) 各会場	受付	分科会①		昼食 (弁当)		分科会②		閉会行事	

9 分科会

No.	課題名	提言者（全分科会2本）			会場
		全国	関東甲信越地区	茨城県	
1	教育課程に関する課題	A	九州 鹿児島（小）	栃木 （中）	アダストリア みとアリーナ
		B	北海道 札幌（小）		常陸太田市 （中）
2	子供の発達に関する課題	東北 山形（中）	群馬 （小）		ホテル・ザ・ウエスト ヒルズ・水戸
3	教育環境整備に関する課題	東海北陸 富山（中）	東京 （小）		水戸京成 ホテル
4	組織・運営に関する課題	近畿 大阪（中）	埼玉 （中）		水戸プラザ ホテル
5	教職員の専門性に関する課題	A	中国 島根（小）	新潟 （小）	水戸プラザ ホテル
		B	四国 高知（中）		結城郡 （小）
6	副校長・教頭の職務内容や 職務機能に迫る課題	全公教 総務・調査部担当			水戸市民会館
特別	時宜に応じた課題	I	全公教 研究部担当		水戸市民会館
	開催地の創意を生かした課題	II	茨城県実行委員会担当		水戸三の丸 ホテル

10 記念講演 【7月31日（木） 13:15～14:15】

講師 石井 竜也 氏（アーティスト）  
演題 「 未定 」

11 シンポジウム 【7月31日（木） 14:30～16:30】

テーマ 「郷土を愛し 協働して未来にはばたく人財を育む 活力ある学校づくりの推進」

コーディネーター 小林 祐紀 氏（放送大学 准教授）  
シンポジスト 富田 敬子 氏（常磐大学・常磐短期大学学長 茨城県教育委員会委員）  
シンポジスト 西村 卓朗 氏（水戸ホーリーホック 取締役GM）  
シンポジスト 塚越 敏典 氏（株式会社結城麦酒 代表取締役 元校長）

12 大会参加費用

《参集参加者》 4,600円（内訳 参加費・資料代3,000円 弁当・お茶代1,600円）

《オンライン参加者》 3,000円（内訳 参加費・資料代）

※上記は2日間の金額です。欠席や1日だけの参加の場合でも返金はありません。

13 参加申込

- 申込方法 後日お知らせする専用申込サイトから参加者によるお申込み
- 申込期間 令和7年4月1日（火）～6月2日（月） 〆切厳守でお願いします。  
※各都道府県教頭会事務局には、別途案内する方法により申込状況の確認をお願いします。





中央：水戸市（弘道館）



県東：鹿嶋市（鹿島臨海工業地帯）



県南：牛久市（牛久大仏）



県西：下妻市（ダイヤモンド筑波  
とポピー畑）



県北：常陸太田市（紅葉の竜神大吊橋）



中央：大洗町（天空の鳥居）

提供：観光いばらき、水戸観光コンベンション協会

## 全国公立学校教頭会研究大会 茨城大会 実行委員会

実行委員長 安齊 寛



〒311-1125

茨城県水戸市大場町933-1 教育プラザいばらき内  
TEL & FAX 029-269-2711

e-mailアドレス iba-kyotoukai@ktd.biglobe.ne.jp

ホームページURL <https://kyoikuplaza-ibk.or.jp/kyoutoukai/>

令和7年度 第67回全国公立学校教頭会研究大会 茨城大会 参加要請数(案) 【参集】

R6.12.09現在

ブロック	地区	会員数 (令和6年度)	要請数	割合	第1A 分科会	第1B 分科会	第2 分科会	第3 分科会	第4 分科会	第5A 分科会	第5B 分科会	第6 分科会	特I 分科会	特II 分科会	計
北海道	1 札幌市	300	15	5%	1	2	2	2	2	1	2	1	1	1	15
	2 札幌市以外	1,177	35	3%	4	3	3	3	3	4	3	4	4	4	35
	計	1,477	50		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	50
東北	3 青森	399	12	3%	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	12
	4 岩手	405	12	3%	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	12
	5 宮城	572	17	3%	2	1	2	2	2	1	1	2	2	2	17
	6 秋田	283	8	3%	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	8
	7 山形	320	10	3%	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	10
	8 福島	583	17	3%	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	17
	計	2,562	76		8	7	8	8	8	8	8	7	7	7	76

令和7年度 第67回全国公立学校教頭会研究大会 茨城大会 参加要請数(案) 【オンライン】

R6.12.09現在

ブロック	地区	会員数 (令和6年度)	要請数	割合	第1A 分科会	第1B 分科会	第2 分科会	第3 分科会	第4 分科会	第5A 分科会	第5B 分科会	第6 分科会	特I 分科会	特II 分科会	計
北海道	1 札幌市	300	21	7%	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	21
	2 札幌市以外	1,177	82	7%	8	8	9	9	8	8	8	8	8	8	82
	計	1,477	103		10	11	11	11	10	10	10	10	10	10	103
東北	3 青森	399	28	7%	3	2	3	3	3	3	2	3	3	3	28
	4 岩手	405	28	7%	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3	28
	5 宮城	572	40	7%	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	40
	6 秋田	283	20	7%	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	20
	7 山形	320	22	7%	3	2	3	2	2	2	2	2	2	2	22
	8 福島	583	41	7%	4	5	3	4	4	5	4	4	4	4	41
	計	2,562	179		18	18	18	18	18	18	17	18	18	18	179
関東 甲信越	9 茨城	750	300	40%	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	300
	10 栃木	503	25	5%	3	2	2	3	4	3	2	2	2	2	25
	11 群馬	463	23	5%	2	2	3	2	3	3	2	2	2	2	23
	12 埼玉	1,272	64	5%	6	6	6	6	9	7	6	6	6	6	64
	13 千葉	1,193	60	5%	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	60
	14 東京(小)	1,326	66	5%	7	7	7	9	0	8	7	7	7	7	66
	15 東京(中)	622	31	5%	3	4	3	2	6	0	4	3	3	3	31
	16 神奈川(小)	852	43	5%	5	5	5	4	0	6	4	5	5	4	43
	17 神奈川(中)	414	21	5%	2	2	2	2	4	0	2	2	2	3	21
	18 山梨	266	13	5%	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	13
	19 新潟	671	34	5%	2	3	3	2	4	4	4	4	4	4	34
計	8,332	680		68	68	68	68	68	68	68	68	68	68	680	

# 令和7年度第67回全国公立学校教頭会研究大会茨城大会参加について (案)

令和7年7月31日(木)～8月1日(金) 茨城県水戸市 ハイブリッド大会

## 1. 分科会参加要請数

分科会	1A	1B	2	3	4	5A	5B	6	特別I	特別II	計
参加要請数	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	12
オンライン	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3	28

## 2. 地区別要請数

地区	参加	オンライン
盛岡	1	2
岩手	1	2
紫波	0	2
花巻	1	2
和賀	0	2
胆江	1	2
一関	1	2
気仙	1	2
釜石	1	2
遠野	0	2
宮古	1	2
久慈	1	2
二戸	1	2
理事	2	2
計	12	28

## 3. 分科会別割当数(参加)

分科会 地区	1A	1B	2	3	4	5A	5B	6	特別I	特別II	計
盛岡				1							1
岩手					1						1
紫波											0
花巻						1					1
和賀											0
胆江							1				1
一関								1			1
気仙									1		1
釜石	1										1
遠野											0
宮古		1									1
久慈			1								1
二戸				1							1
理事		1					1				2
計	1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	12

## 4. 分科会別割当数(オンライン)

分科会 地区	1A	1B	2	3	4	5A	5B	6	特別I	特別II	計
盛岡	1						1				2
岩手					1					1	2
紫波			1					1			2
花巻				1					1		2
和賀							1			1	2
胆江	1					1					2
一関			1			1					2
気仙		1					1				2
釜石									1		2
遠野					1			1			2
宮古				1						1	2
久慈		1							1		2
二戸				1	1						2
理事		1						1			2
計	2	3	3	3	3	2	3	3	3	3	28

今年度、紫波・和賀・遠野地区は参加割当はありません。

東北地区小中学校長 様  
 山形県小中学校長 様  
 東北各県小中学校副校長・教頭 様  
 関 係 各 位

東北地区小中学校教頭会 会長  
 山形県小中学校教頭会 会長

**令和7年度**  
**第45回東北地区小中学校教頭会研究大会山形大会**  
**第54回山形県小中学校教頭会研究大会**

## 第 1 次 ご 案 内

春寒の候、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、令和7年度第45回東北地区小中学校教頭会研究大会は、第13期全国統一研究主題「未来を切り拓く力を育む魅力ある学校づくり」〈自立・協働・創造〉に基づく研究の3年目・最終年次のまとめとして、山形市で開催することになりました。本大会では、研究主題に迫るため、日々の教育活動の充実に向けた取り組みや、高い志や意欲をもつ自立した人間として未来を切り拓いていく力をもった児童生徒の育成について、全会員の英知を結集して研究実践の成果を積み上げていきたいと考えております。

つきましては、東北地区教頭会会員の皆様にご参集いただき、山形大会の開催にお力添えを賜りますよう、ご案内申し上げます。

## 開 催 要 項

- 1 主 催 東北地区小中学校教頭会 山形県小中学校教頭会
- 2 主 管 山形市小学校教頭会 山形市中学校教頭会
- 3 後 援 (申請予定)  
 山形県教育委員会 山形市教育委員会 山形県市町村教育委員会協議会  
 山形県連合小学校長会 山形県中学校長会 山形県PTA連合会 山形県教育共励会  
 日本教育公務員弘済会山形支部
- 4 大会主題 「未来を切り拓く力を育む 魅力ある学校づくり」  
 キーワード 〈 自立 協働 創造 〉
- 5 期 日 令和7年11月13日(木)～14日(金)
- 6 会 場 山形県山形市 〈全体会〉山形テルサ  
 〈分科会〉山形国際ホテル・ホテルメトロポリタン山形





令和7年度東北地区小中学校教頭会研究大会山形大会

各県参加要請数及び分科会人数の割り振りについて（案）

県名	会員数	要請数 15%	分科会参加要請数					合計
			第1	第2	第3	第4	第5	
青森	399	60	15 提言	12	11	11	11	60
秋田	284	43	11 提言	7	7	7	11 提言	43
岩手	407	61	11	16 提言	12	11	11	61
福島	584	88	16	17	21 提言	17	17	88
宮城	575	86	16	16	16	21 提言	17	86
山形	320	320	63	64 提言	65 提言	64 提言	64 提言	320
計	2569	658	132	132	132	131	131	658

1 山形以外の東北各県への参加要請数は会員数の15%に設定しています。（6年度会員数で算出）

2 分科会の参加人数の割り当ては基本案ですが、会場の広さの関係もあり、全ての分科会への参加者数について、できる限り各県で調整をしていただきますようお願いいたします。

※山形県の参加者については、他県の参加状況を見て調整させていただく場合がございます。

3 小グループの司会者は、原則として山形県小中学校教頭会が担当します。

# 令和7年度第45回東北地区小中学校教頭会研究会山形大会参加について(案)

令和7年11月13日(木)～14日(金)

## 1. 分科会参加要請数(山形県提案)

各県会員の15%の参加要請

分科会	1	2	3	4	5	計
要請数	11	16	12	11	11	61

【第2分科会】胆江地区発表

## 2. 地区別要請数

※地区会員数の15%

地区	参加割当
盛岡	8
岩手	6
紫波	2
花巻	4
和賀	4
<b>胆江</b>	<b>5</b>
一関	5
気仙	4
釜石	2
遠野	2
宮古	5
久慈	5
二戸	4
理事	5
理事巡回	7
計	68

## 3. 分科会別割当数

分科会 地区	1	2	3	4	5	巡回	計
盛岡	1	1	2	2	2		8
岩手	1	1	1	2	1		6
紫波		1			1		2
花巻	1	1	1	1			4
和賀	1	1	1		1		4
胆江	1	3	1				5
一関	1	1	1	1	1		5
気仙	1	1	1		1		4
釜石		1		1			2
遠野		1	1				2
宮古	1	1	1	1	1		5
久慈	1	1	1	1	1		5
二戸	1	1		1	1		4
理事	1	1	1	1	1	7	12
計	11	16	12	11	11	7	68

提言者含む

令和7年度地区会員数一覧(予定)

地区名	R7会員数 (予定)	小学校	中学校	R6会員数	増減
盛岡	67	41	26	67	0
岩手	45	31	14	45	0
紫波	14	9	5	14	0
花巻	27	16	11	27	0
和賀	27	16	11	27	0
胆江	31	23	8	31	0
一関	39	23	16	39	0
気仙	27	21	6	28	-1
釜石	19	12	7	19	0
遠野	14	11	3	14	0
宮古	34	19	15	34	0
久慈	34	21	13	34	0
二戸	22	15	7	28	-6
計	400	258	142	407	-7

統廃合

大船渡市立大船渡中学校と末崎中学校が統合 → 大船渡市立大船渡中学校 新設 -1  
 一戸町立鳥海小学校 閉校 → 一戸町立一戸小学校へ統合 -1  
 一戸町立小鳥谷小学校 閉校 → 一戸町立一戸南小学校へ統合 -1  
 九戸村立江刺家小学校 閉校 九戸村立長興寺小学校 閉校  
 九戸村立伊保内小学校 閉校 九戸村立山根小学校 閉校  
 九戸村立戸田小学校 閉校 → 九戸村立九戸小学校 新設 -4

令和6年度会員数 407名 → 令和7年度会員数 400名

## 令和7年度 歳入歳出予算(案)

### 1. 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考
1. 会 費	11,200,000	11,803,000	△ 603,000	29,000円→28,000円×400名(案)
2. 補 助 金	250,000	250,000	0	教育会、日教弘
3. 繰 越 金	1,100,000	764,865	335,135	
4. 研究大会積立金	-	1,221,000	△ 1,221,000	
5. 雑 収 入	132,000	132,000	-	学生協
収 入 計	12,682,000	14,170,865	△ 1,488,865	

### 2. 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備 考	
1. 研究大会費	-	2,145,000	-2,145,000	講師謝金	-
				助言者謝金	-
				発表者旅費	-
				司会・記録旅費	-
				大会役員旅費	-
				借料・損料	-
				記録	-
				資料費	-
				通信費	-
				盛花	-
				看板	-
				消耗品	-
				輸送費	-
				写真	-
会議費	-				
渉外費	-				
2. 事務費	2,540,000	2,460,000	80,000	職員費	1,650,000
				共済積立費	50,000
				通信運搬費	300,000
				印刷費	60,000
				消耗品費	80,000
				コピー使用料	300,000
				事務所費	60,000
				雑費	40,000



3. 会 議 費	290,000	350,000	△ 60,000	理事諸会議 80,000 評議員・事務局・研修担当 80,000 東北理事諸会議 100,000 その他 30,000
4. 旅 費	1,647,000	1,479,000	168,000	学校管理運営研修会 120,000 評議員・事務局・研修担当 270,000 理事諸会議 100,000 全国大会 340,000 東北大会 460,000 東北理事会 300,000 東北事務担当者会 35,000 中央研修 2,000 その他 20,000
5. 刊 行 費	950,000	770,000	180,000	評議員会要項 140,000 副校長会報 110,000 研究の手引 110,000 研究集録 470,000 副校長の調査 120,000
6. 研究推進費	2,220,000	2,000,000	220,000	学校管理運営研修会 320,000 全国大会参加補助 680,000 東北大会参加補助 1,060,000 中央研修 10,000 大会発表補助 20,000 地区研究大会祝金 130,000
7. 負担金・会費	3,475,000	3,779,400	△ 304,400	全国教頭会費 1,600,000 東北ブロック負担金 30,000 日本教育会費 1,240,000 日本教育会岩手県支部費 600,000 いわて教育の日推進協議会費 5,000
8. 慶 弔 費	240,000	220,000	20,000	退職記念品 160,000 見舞金 30,000 その他 50,000
9. 積 立	650,000	660,500	△ 10,500	基金積立 50,000 研究大会積立 600,000
10. 予 備 費	670,000	306,965	363,035	
支 出 合 計	12,682,000	14,170,865	△ 1,488,865	

## 令和7年度 岩手県小中学校副校長会基金予算(案)

(記念事業・東北大会等)

1. 収入の部	1 前年度繰越金	1,685,912円
	2 積立金	50,000円
	3 利息	10円
	A 合計	1,735,912円

2. 支出の部	創立60周年記念事業	円
	B 合計	0円

3. 収支の部(A-B)  
 1,735,912円 - 円 = 1,735,912円 繰越予定

## 令和7年度 運営資金予算(案)

入会金:全公教拠出金6,000円→5,000円 県拠出金3,000円→2,000円(案) 計7,000円(案)

1. 収入の部	1 前年度繰越金	2,314,036円
	2 本年度入会金(7,000円×新入会員80名)	560,000円
	3 預金利息	10円
	A 合計	2,874,046円

2. 支出の部	1 全国公立学校教頭会拠出金(5,000円×80名)	400,000円
	B 合計	400,000円

3. 収支の部(A-B)  
 2,874,046円 - 400,000円 = 2,474,046円 繰越予定

## 令和7年度 研究大会積立金予算(案)

1. 収入の部	1 前年度繰越金	753,156円
	2 積立金 (1,500円×400名)	600,000円
	3 預金利息	5円
	A 合計	1,353,161円

2. 支出の部	1	0円
	B 合計	0円

3. 収支の部(A-B)  
 1,353,161円 - 0円 = 1,353,161円 繰越予定

# 令和7年度役員選出について

- 1 評議員会決定役員(従来の選出方法による)  
 会長 (1名) 盛岡地区から選出  
 副会長 (5名) ○印の地区から各1名選出

副会長・監事割当ローテーション

岩手	○紫波	花巻
和賀	胆江	○一関
気仙	○釜石	遠野
宮古	○久慈	二戸
○盛岡		

	7年度	8年度	9年度
副会長	紫波	花巻	岩手
	一関	和賀	胆江
	釜石	遠野	気仙
	久慈	二戸	宮古
	盛岡	盛岡	盛岡
監事	紫波	花巻	和賀
	胆江	一関	気仙
	宮古	久慈	二戸

監事 (3名) ○印の地区から各1名選出

岩手	○紫波	花巻	和賀
○胆江	一関	気仙	釜石
遠野	○宮古	久慈	二戸

2 会長委嘱役員 理事

3 地区選出役員 評議員 各地区2名、但し会員50名以上の地区は3名 (下表参照)  
 ※ できるだけ地区会長、地区事務局長は、評議員を兼任のこと  
 評議員議長担当地区: 第1回(5月)釜石・遠野、第2回(2月)宮古・久慈  
 司会進行: 県事務局次長 記録: 県総務副部長

※ 総会を開催する場合

①総会議長 監事担当地区から各1名 (計3名)

②総会署名委員 岩手・紫波地区から各1名 (計2名)

③代議員 地区担当数と市町村単位割当数の合計人数選出 (下表参照)

【内訳】

※ できるだけ評議員は代議員を兼任のこと  
 地区担当数…会員数10名につき1名、端数切り捨て  
 市町村単位割当数…地区の市町村単位区分から各1名  
 (市町村単位区分については地区の実情を考慮する)

評議員及び総会開催時の代議員割当数

※R6会員数で算出

地区	会員数	評議員数	総会開催時:代議員数					
			地区担当	市町村単位割当	内訳	市町村単位割当	計	
盛岡	67	3	6		盛岡市	1	1	7
岩手	45	2	4		岩手町	1	5	9
					釜石町	1		
					八幡平市	1		
					葛巻町	1		
					滝沢市	1		
紫波	14	2	1		紫波町	1	2	3
					矢野町	1		
花巻	27	2	2		花巻市	1	1	3
和賀	27	2	2		北上市	1	2	4
					西和賀町	1		
胆江	31	2	3		奥州市	1	2	5
					金ヶ崎町	1		
一関	39	2	3		一関市	1	2	5
					平泉町	1		
気仙	28	2	2		大船渡市	1	3	5
					陸前高田市	1		
					住田町	1		
釜石	19	2	1		釜石市・大槌町	1	1	2
遠野	14	2	1		遠野市	1	1	2
宮古	34	2	3		宮古市	1	3	6
					山田町	1		
					岩泉町・田野畑村	1		
久慈	34	2	3		久慈市	1	3	6
					洋野町	1		
					野田村・普代村	1		
二戸	28	2	2		二戸市	1	3	5
					九戸村・軽米町	1		
					二戸町	1		
合計	407	27	33				29	62

## 岩手県小中学校副校長会創立60周年事業(案)について

### 1 創立60周年記念誌の刊行

- ① この10年間(平成28年度～令和7年度)の活動記録を中心とする
- ② 編集委員会は起ち上げず、事務局と広報中心に過去の記録(会報掲載記事等)を利用しての紙面作りを行う。
- ③ 過去10年の各地区からの会報掲載記事について選出し、地区の了解を得て編集する。
- ④ 記念誌は関係団体等へ配布する部数(約50～60部程度)作成する。  
会員にはHP上で閲覧できるようにする。
- ⑤ 予算は副校長会基金より計上する。

### 2 創立60周年記念講演を開催

- ① 令和7年度は県大会のない年度のため、会員が参集する令和7年7月7日(月)開催予定の「第36回学校管理運営研修会」の午後の講演を60周年記念講演として行う。
- ② 予算は、一般会計の研究推進費の中の「管理運営研修会」より計上する。